

先週は朝晩の冷え込みが厳しくなったからか、週の始め 2 日間に 2/3 名のお休みがありました。また中には雑草などに反応してアレルギー反応が出ている児童もいます。繰り返しになりますが、学校では手洗い・うがいの徹底、マスクの着用、乾燥を防ぐための水分補給、空調の調整をしながら子どもたちの体調管理をサポートしていきたいと思いますので、ご家庭でも更なるご協力をお願いいたします。

理科 ~太陽の光を調べよう~

理科の授業では、太陽の光について調べてきました。内容としては、日向と日陰の地面の違い、日光をはね返した時の光の進み方や、日光が当たった所の明るさや温度の特徴、集めた日光が当たった所の明るさや温かさです。この中で温度計、鏡、虫眼鏡を使って実験をしてきました。器具を使う際は使い方や注意事項の話し合いと確認、また実験を行う際も方法や条件を明確にしてから取り組んできました。

理科の授業をしていて感じるのは、子どもたちのメリハリある行動が増えてきたことです。実験前に教室で注意事項を確認する時は集中し、それをしっかりと理解し、外に出て実験を行う際は楽しみながら結果を見出したり、疑問をもとに他の方法を試したりしながら取り組んできました。今週行った虫眼鏡を使って光を集め、黒く塗った紙を焦がす活動でも、安全に注意しながら実験を行い、結果が出た子はまだ上手くできていない子を自ら助けに向かっていました。また授業が終わった後、休み時間を使って黒以外の色を試す子も出たほど熱中していました。活動を楽しみつつ、それをちゃんと学びにつなげている子どもたちとともに、今度もたくさんの実験を行いながら知識や理解を深めていきたいと思います。

算数・数 ~1桁をかける筆算~

算数と数の授業では、筆算で2桁や3桁の数字に、1桁の数字を筆算にしてかける学習を行っています。九九が苦手な子がいることは、これまで学級懇談会等でもお話ししてきましたが、今回の単元では、既に筆算ができる児童もいたため、授業の中で学習のペースに違いを持たせながら取り組んできました。

どの授業でも最初の問題の理解度によって、その後の取り組み方を変えています。筆算を既に理解している児童はすぐに計算プリントや Qubena、難易度が選べる文章問題プリントに取り組みました。筆算が初めての児童は私と一緒に例題を数問取り組んだ後、計算プリントを数問ずつやっては答え合わせをし、理解度を確認しながら進めていきました。その結果、既に筆算の方法を理解している児童は、たくさん問題を解いたり難しい問題にチャレンジしたりすることができました。また初めてもしくはかけ算を苦手とする児童は、方法を確認しながら自信を高めていき、最終的には解くスピードや正確性に違いはあるものの、全員がしっかりと筆算の方法を理解することができました。

一斉に全員で行う学習は、内容と方法が合っていればとても価値ある学習です。全員で行うからこそ、考え方の違いや新たなアイデアに触れることができます。一方で、今回のように知識やスキルを「習得」する授業では、それを既に習得している児童がいた場合、全員で行っている時間は貴重な時間が無駄になる恐れがあります。反対にサポートが必要な児童は十分なサポートが得られません。算数では、今回のような計算だけでなく、図形や表とグラフ等さまざまな単元があり、意見を出し合って協働的な学習に取り組む場面もたくさんあります。今後も一斉学習と個々の児童に合った個別最適な学習を組み合わせながら学習を進めていきたいと思っています。

鈴木先生より ~水泳学習~

11月は、2週にかけて水泳学習を行いました。事前に水泳を行うことを彼らに伝えた時の表情はとても晴れやかで、今か今かと待ち望むような表情をしていました。しかし水泳学習は、楽しいのと同時に危険がつきものです。少しでもふざけると溺れて命に関わります。安全上の注意を説明した時はとてもよく聞いていたのですが、それでも大丈夫だろうかと私自身緊張感をもったまま当日を迎えました。当日は、私のそれまで緊張していたのはなんの意味があったのだろうかと思うほど、安全に気をつけて楽しんで水泳学習を行っていました。

た。中でも、下級生と一緒に学習していた子は、先頭に立ってコーチの指示をよく聞き、指示を理解しきれない下級生に「次はこうするんだよ」「今は止まって」などと優しく声かけをされていて、深く感心しました。実際、水泳学習が終わった後も、そのコーチは「その子がいたおかげで安全にスムーズに指導をできた」とおっしゃっていました。3年生は一般的にはまだ中学年ですが、この SOLAN 小学校では大きな最上級生です。とても頼もしい最上級生がこの学校にはたくさんいるんだと感じ、彼らの大きな成長を感じた 11 月でした。

写真は理科の実験の様子と書写の授業の様子です。